BRB 2019 年 6 月号

BLUE RED BLUE

神戸慶應倶楽部

2019 年 6 月 20 日発行
発行人：小池 剛
発行所：〒650-0024　神戸市中央区
海岸通 8 神港ビルヂング 625
TEL：078－393－0050
FAX：078－393－0051
E-Mail：kobekeio@dream.ocn.ne.jp
URL　：http://www.kobekeio.org/
編集人：鳥巣慶太／天竹清裕

令和元年定時総会

～関西合同三田会 in 神戸へ向けて～

藤井 隆志（平 8 商）

2019 年 5 月 29 日 神戸外国倶楽部にて、神戸慶應倶楽部 2019 年度定時総会が開催されました。

小池幹事長の開会宣言に始まり、木村会長より令和新時代の新しい幕開けについての話ののち、第 1～第 6 議案まで、それぞれつつがなく議案決議が行われました。私個人としましては、改めて幹事の一員に新任することとなり、身が引き締まる思いです。

また、今年度は関西合同三田会 in 神戸をひかえていることもあり、いつも以上に、木村会長の熱い思いや、参加者の静かなる決意を感じられた総会でした。2011 年以来 8 年ぶりとなる神戸での関西合同三田会の開催！令和新時代最初の関西合同三田会の開催が、ここ神戸となったことは何かの巡り合わせなのでしょう、との木村会長の言葉には、みな、責任の重さを感じるとともに、喜びと楽しみの雰囲気に包まれました。

総会終了後は、懇親会となり、様々な世代交流が図られ、美味しいお酒に料理を楽しみました。あちこちのテーブルで、入り乱れながら、先輩後輩の繋がりの有難さを改めて感じた夜でした。

KOBE KEIO CLUB

KOBE KEIO CLUB

KOBE KEIO C

～１月例会レポート～

松沢 尚浩（平 16 経）

1月11日（金）18時30分より、「西村屋 和味旬彩」にて新年例会が開催されました。３４名の参加で、まずは株式会社M＆Hパートナーズ　竹岡眞美氏（塾員）から、「ここ一番であなたの魅力を１００%引き出す武器としてのスタイリング講座～若手ビジネスパーソン・チョイ〇〇エグゼクティブにとっての必勝スタイリング術を伝授します～」というタイトルで、ご講演をいただきました。講演では、目を見張るような変化を遂げるスタイリング技に皆様釘付けになり、質疑応答も大変盛り上がりました。食事では、河野評議員の乾杯ご発声で例会がスタートしました。お料理は、前菜、かにすき、雑炊、デザートと、とても美味しくいただきました。関西合同三田会のお話しも各テーブルで盛り上がり、松尾副会長に中締めのご挨拶をいただき、恒例の「若き血」を昨年入会の岡君の指揮のもと斉唱し、お開きとなりました。最後になりましたが、本年もお世話になりました西村屋の皆様に、この場を借りて御礼申し上げます。

～３月例会レポート～

高木 莉那（平 20 環）

3月8日(金)春めいてはきたもののまだ少し肌寒い夕暮れ…トアロードを上っていくと、左手に神戸の誇る築100年以上の洋館「東天閣神戸本店」が美しく現れました。今年は56名の塾員の皆さんがお集まりになり開会前から大盛況のところ、小池幹事長の司会のもと、18時30分から松尾副会長の乾杯のご挨拶で３月例会が始まりました。

目にも舌にも美味しい王宮料理の数々を堪能し、途中新入会員の方々よりご挨拶を頂きました。その後も楽しい時間は瞬く間に過ぎ去ってしまい、佐井元会長からお話を頂いたのち、全員で「若き血」の合唱！そして、お店の前で集合写真を撮りお開きとなりました。

最初から最後まで、学年も学部も超えてしまうあたたかい雰囲気に包まれ、慶應の卒業生で良かった！と実感できるしあわせな時間でした。これもひとえに中神先輩の格別のご厚意によるものと心からお礼を申し上げます。来年もまたこの大好きな憧れのお店で皆さまとお会いできますことを楽しみにしています。

～4 月例会レポート～

鳥巣 慶太（平 12 理工）

4月23日(火)ミスビットコインこと藤本真衣氏をお迎えし、「ブロックチェーンが創る未来といま世界で進んでいること」についてお話頂きました。ブロックチェーンとは、全てのブロック（台帳）をチェーン（鎖）でつなぐ技術で、全ての台帳すなわち取引を関連付けすることで、改ざんや不正を防ぐ安全性と透明性を担保する仮想通貨に使われている技術です。

現代において、日本ほどお札や硬貨など実際の現金を使用している国は異例であり、世界では電子マネーや仮想通貨などを使用したキャッシュレス化がどんどん進んでいるそうです。例えば、中国では街の屋台まで電子マネーの取引が主流となっているそうです。日本では考えられませんよね。

ここで、仮想通貨とは、現実の通貨と異なり、実体を持たずデジタルデータとしてのみ存在する通貨のことで、円やドルのように国家が発行するものでないことも大きな特徴です。仮想通貨のメリットは、送金スピード、取引手数料、取引時間などで、デメリットは価格の不安定性、ハッキング及び喪失リスク、法の未整備などです。

日本ではまだまだ投機対象の色合いが強い仮想通貨ですが、上記のようにメリットが大きいため、法整備されデメリットが改善できれば、将来一通貨として流通する可能性があるのではと感じました。ちなみに、2019年4月に1ビットコイン＝約40万円だったものが、2ヶ月後の2019年6月現在1ビットコイン＝約90万円になっていました。あのとき買っておけばと思いました（笑）。ただ、2018年1月に1ビットコイン＝約210万円でしたので、あのとき買わなくてよかったと思っています（笑）。

同好会だより

【読書会】

«読書会第 59 回»　　世話人　阪本 豊起

第５９回目の学問のすすめ読書会は、平成３１年１月２２日（火）１６時から阪本豊起評議員の事務所で行われました。参加者は、青戸、浅沼、善塔、古淵、古武、六拝、福野、阪本の８名でした。

本日は、「第四次産業革命」第３章「経済、ビジネス、国家と世界、社会、個人への影響」の途中　コラムＢ「環境と再生と保護」（８９Ｐ）から始め、コラムＣ「混乱の時代における機動的なガバナンスの原則」（１００P）まで読み進めました。

次回は「第四次産業革命」第３章「経済、ビジネス、国家と世界、社会、個人への影響」の四　「地域、都市」（１００P）から始めます。

『サピエンス全史　文明の構造と人類の幸福　ユヴァル・ノア・ハラリ著』のほうは今回も全く手が付けられませんでしたので、次回は「口を利く死者の霊」（７５Ｐ）から輪読します。恒例の１８時からの居酒屋は今回もおやすみしましたが、次回もお休みします。

«読書会第 60 回»

第６０回目の学問のすすめ読書会は、平成３１年３月２９日(金)１６時から阪本豊起評議員の事務所で行われました。参加者は、青戸、浅沼、古淵、藤井、六拝、福野、池田、阪本の８名でした。

六拝から読売新聞の３月２３日土曜版に「共有と思いやりの社会」と題して、「第四次産業革命」の著者の世界経済フォーラム会長のクラウス・シュワブ氏のインタビュー記事が掲載されていたことが披露されました。２０１６年のダボス会議で「第四次産業革命」が初めて取り上げられて（その成果である同氏の著作を堀切先輩から頂いたご提案で輪読しているわけです）３年が経ちましたが、人工知能(AI)などの技術革新によって私たちの暮らしが急速に変化していることを実感します。

阪本からは、昨年１０月２７日から本年３月９日まで、５回に渡って、慶応の法科大学院を代表する５名の教授により慶応大阪シティキャンパスで行われた改正民法（２０２０年４月から施行）の受講の報告がありました。

立法には立法時の社会の規範が反映されるが、ルールを法規範として適用するには原則と例外があり、例外は「特段の事情がある場合」として原則であるルールの適用を排除するように運用される。しかし時代とともに「特段の事情がある場合」の例外がむしろ原則になることもある。その場合には例外と原則が逆転するような法の改正が行われるとの片山直也教授の説明に、いままさに社会が変化している姿を再認識した次第です。

また池田からは、恒例の大阪弁 NANBA なんなん川柳コンテスト（第２２回）の入賞者入賞候補者作品集が配布され、また「頼助伝」（松原隆一郎著　苦楽堂）が紹介されました。本日は、このように３０年間続いた平成の世の終焉を迎えて、時代の変化を第四次産業革命に対する感想も交えながら、話し合っているうちに、予定の時間を過ぎてしまいました。残念ながら、「第四次産業革命」の輪読に入ることはできませんでした。

«読書会第 61 回»

第６１回目の学問のすすめ読書会は、令和１年５月３１日（金）１６時から阪本豊起評議員の事務所で行われました。参加者は、浅沼、古淵、善塔、清水、福野、阪本の６名でした。

今回は、出席者が少なかったことから、「第四次産業革命」の輪読は、次回に延期しました。そして貨幣について議論することにしました。

これは、平成３１年４月の神戸慶応倶楽部の例会で、「ブロックチェーンが創る未来と、いま世界で進んでいること」と題して、グラネコＣＥＯの藤本真衣氏からビットコインなどの仮想通貨の話を聞きましたが、通貨としての意味がよくわからなかったとのことから、お金（通貨）としてのビットコインの特質についてまず阪本が思うところを話し、その見方について、みんなで議論を戦わせました。

経済活動において、貨幣の持つ役割を考えると、ビットコインに代表される仮想通貨はやはり限界があることは否定できないように思われますが、果たしてどうでしょうか？

次回は「第四次産業革命」第３章「経済、ビジネス、国家と世界、社会、個人への影響」の四　「地域、都市」（１００P）から始めます。

『サピエンス全史　文明の構造と人類の幸福　ユヴァル・ノア・ハラリ著』のほうは今回も全く手が付けられませんでしたので、次回は「口を利く死者の霊」（７５Ｐ）から輪読します。恒例の１８時からの居酒屋は今回もおやすみしましたが、次回もお休みします。

次回の第６２回目の読書会は、令和元年７月１８日(木)１６：００から、阪本評議員の事務所（建隆ビルⅡ３階）で行います。前記『第四次産業革命』と『サピエンス全史上』をお持ちください。

会場は神戸慶應倶楽部のある神港ビル（旧居留地８番）の西隣（東京海上）の更に西隣（６番）の全面ガラスの建隆ビルⅡの３階です。商船三井ビルの東隣です。前回の出席者以外の方は阪本まで事前にご連絡頂ければ幸いです。

【ＫＫＪＣ】

«KKJC 活動報告»　　**世話人　大場 知之**

今回は KKJC の主要な活動の一つ、ヴォーカルセッションについて報告致します。歌うことは健康のためにとても良いとよく言われます。カラオケでも何でもよいのですが、大きな声でお腹から思い切り声を出して歌ってみると、何故かスッキリした気分になるのは、皆さん経験あると思います。一曲歌うと１００ｍを走るのに匹敵するくらいの運動量になるとの記述も有ります。しかも腹式呼吸をすれば、横隔膜が上下に動き、内臓の血行がとても良くなり、新陳代謝もとても良くなります。また、歌うことは精神を安らげ、安定させる効果があると言われております。ヴォーカル仲間でリラックスして歌うことが多いのですが、皆さんの前で歌うので適度の緊張感も生まれ、このことが自律神経に良い影響を与え、安定した精神状態を得られるようです。歌詞を覚えようとすると、記憶と密接に結びつく物質が刺激され、脳の活性化につながります。英語の歌詞を覚えようとすると更に脳を刺激し、ボケ防止には貢献するでしょうね！！KKJC ではカラオケではなくピアノの生伴奏で歌い、本番ではピアノトリオで歌います。当然バックのミュージシャンとリズムを合わせる（リズム感を磨く）必要が有りますが、この行為も脳の活性化につながると言われております。

さて、10 連休の終盤 5 月 5 日（日）に芦屋の「甘辛処すずき」で KKJC セッション会を開催しました。浅沼様はじめ KKJC からは 11 名参加、ゲストの方 3 名参加の 14 名で行いました。今回は篠崎様（S33・経）ご夫妻（見学参加）とお嬢様の四方田レオンさんが初参加、「New York New York」他 2 曲を歌われました。レオンさんは海外でレッスンを受けているそうで、とても素晴らしかったです。我々ヴォーカルメンバーも数曲ずつ歌って、セッション会も終了。この後は歌った後の美味しいビールを飲みに、近くの中国料理店で上海料理を食しながら反省会！いや色々な会話で大いに盛り上がって終了しました。次回のセッション会は、6 月 11 日（火）同じく「甘辛処すずき」で開催、打ち上げは近くの美味しい魚の店で行います。皆さんの本番は 12 月 14 日（土）神戸倶楽部で開催予定のジャズ忘年会で、パナソニックの小川理子さん率いる一流ジャズミュージシャンのバンドをバックに歌って頂きます。それまではセッション会やプライベートレッスンで新曲にチャレンジしたり、大いにヴォーカルを楽しんで頂ければと思っております。

【イーゼル会】　世話人　天木 明

<<今月の絵>>　村田憶信（昭 35 政）

～慶早ゴルフコンペ～

和田 真一（平７商）

5 月 22 日水曜日

第 59 回慶早ゴルフコンペが開催されました。例年、慶応側の設営で廣野ゴルフ倶楽部で開催される、春の慶早ゴルフコンペですが、今年は廣野が大規模改修（ 今回のコンペには関係ないですが、一年単位でゴルフ場を使用できなくして、コースを改修するなんて、さすがだなあと思いました。）のため、六甲国際ゴルフ倶楽部東コースで行われました。

毎年、女子プロのトーナメントが開催されるタフで美しいコースです。 会場が例年と異なりましても、令和最初の伝統の慶早ゴルフは熱く、楽しく行われました。

慶応、早稲田ともに 9 名ずつの参加となり、計 5 組となりました。上位 6 名ずつのネットスコアでの勝負となりました。

昨年の雪辱を果たし、見事に慶応側の勝利となりました。個人戦も S56 年商学部卒の和田朝喜先輩が優勝されました。ラウンドや会食を通して、それぞれの親睦も深まり終始和やかな雰囲気で閉会いたしました。

このような伝統ある行事の幹事を、山本俊一幹事と一緒にさせていただき大変光栄でした。当日参加された皆様おつかれさまでした。今後も慶早ゴルフコンペが脈々と続いていくことを望みます。次回は 9 月 11 日、早稲田側の主催で神戸ゴルフ倶楽部でおこなわれます。ご参加よろしくおねがいいたします。

≪新入会のご挨拶≫

横田 健二（平２政）

平成 2 年政治卒の横田健二と申します。大澤副会長にお誘いいただき入会させていただきました。どうぞよろしくお願い申し上げます。大学時代はアフリカ政治研究の小田ゼミに所属しておりました。ゼミの大先輩が大澤副会長です。出身は埼玉県で大学から慶應に入り、その後、住友不動産㈱に入社しました。現在は関西地区でのマンション等の開発事業を担当しており、初めての東京以外勤務と単身赴任を満喫（？）しております。

子供の頃からずっと野球漬けでしたが大学で野球部に入らなかったことを大いに後悔してしばらくは大学野球を見ることが出来ませんでした。ところが１０年程前からすっかり慶應野球部ファンになり春秋は神宮に通っておりました。こちらに来てからはだいぶ減ってしまいましたが、その代わりに高校野球と阪神戦での甲子園が癒してくれています。皆様ともご一緒できる機会があれば嬉しいです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

≪新入会のご挨拶≫

岡本 順治(昭 52 経)

昭和５２年経済学部卒業の岡本順治と申します。経済学部卒業と申しましても、體育會アメリカンフットボール部に所属し、学生生活の大半は練習グランドのある日吉で過ごし、三田へ行くのは試験の時ぐらいしかありませんでした。

卒業するまでは東京しか知りませんでしたが、丸紅（株）に入社し初めの配属が大阪になり、西宮の独身寮に入寮し阪神間での生活を楽しんでいるうちに、海も山もすぐ近くにある神戸が好きになり、そのまま結婚し（家内も神戸出身です）家も持ち神戸市民となりました。

既に一度目のサラリーマン生活は終えましたが、現在も業務委託の形態で丸紅（株）の仕事を手伝わせていただき、相変わらずサラリーマンのような生活をしております。

仕事では、単身赴任で国内の色々なところで過ごしましたが、これからは神戸に定着することになります。

これといった趣味はないのですが、友人とお酒

を飲むのは大好きです。神戸で慶応卒業の知り合いができたらと思い入会させていただきました。よろしくお願いいたします。

≪新入会のご挨拶≫　　吉岡 亮(平 19 理工)

この度荒木重典先輩のご紹介を賜り、神戸慶應倶楽部に入会させて頂きました、吉岡亮と申します。宜しくお願いします。

大学では体育会野球部に在籍しておりました。リーグ戦出場は叶いませんでしたが、野球部での経験はかけがえのないものです。出身は島根県松江市です。地元地銀の山陰合同銀行に勤務しており、平成 30 年 7 月に神戸支店に転勤して参りました。こちらに来てまだ 9 ヶ月と分からないことも多々ありますが、山陰と関西のお客様に喜んで頂き、地域の活性化に繋がる提案を心がけ日々精進しております。

私の出身地にある松江城は平成 27 年に国宝に指定され、昨年の 12 月には全国から 5 千人超のランナーの方に参加頂き、第一回国宝松江城マラソンを盛大に開催しました。山陰は地味なイメージもありますが、自然と歴史の魅力満載です。マラソンに興味がある方、そうでない方も是非山陰へお越し下さい！

≪新入会のご挨拶≫　　高山 敦（昭 60 政）

昭和 60 年法学部政治学科卒の高山敦と申します。出身は東京で、自宅は横浜市青葉区にあります。家族は妻と一男（25 才）二女（22 才）です。この春に双子の娘たちが社会人になります。

大学時代にはショートホープラグビークラブという同好会に所属していました。体育会野球部を応援することにも熱中し、慶早戦は 4 年間に 22 試合を観に行きました。

大学卒業と同時に、神戸で設立された海運会社に入社し、名古屋、東京、シンガポール、サンクトペテルブルク、広島、神戸で勤務してきました。三田会は地元の横浜青葉三田会、シンガポール三田会に参加させていただきました。

趣味はスポーツ観戦、アウトドア、旅行、料理、カラオケ、飲み歩きなどです。勤務地は神戸慶應倶楽部事務局と同じ神港ビルにあります。今回の入会をご縁に、塾員の皆様との新しい出会いを楽しみにしています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

≪新入会のご挨拶≫　　高木 莉那(平 20 環)

皆さま初めまして、高木 莉那（旧姓 金森）と申します。出身は東京（都立日比谷高校）ですが、結婚を機に来た神戸が今では大好きです！

以前は、NHK 奈良放送局でアナウンサー職とディレクター職を兼任しておりました（在学中にドキュメンタリー映画製作を専攻したことがきっかけです）。現在は、数年前に立ち上げた「神戸ステッキ」という“上質な杖の専門店”と、もうすぐ 2 歳になる息子、両方の成長のために奔走している毎日です。

素敵なステッキを求めて主人と欧米を巡ってきたところ（妊娠中の大きなお腹でアポなしで工房へ飛び込んだり、乳児を抱っこしながら商談をしていました）、いつの間にか日本で最も世界中のステッキが集まるお店になっていました。「おしゃれなステッキを神戸から！健康寿命を伸ばしたい！もっと“木”に親しんでほしい！」という夢の為、トアロード脇の小さなお店から頑張っています。

至らない点も多いかと存じますが、いつの日か神戸の街のお役に立てるような人間に成長できたら…！と願い精進いたします。塾員の皆さまどうぞよろしくお願い申し上げます。

≪新入会のご挨拶≫　　根城 尚子(平２政)

この度入会いたしました、根城（旧姓：眞田）尚子と申します。東京都出身、都立戸山高校から法学部政治学科へ入った外部生です。

経済学部にいた兄の華やかで楽しそうな生活にあこがれて入学し、ばら色の４年間を過ごしました。ウインザーテニスクラブ、小田ゼミ（大澤さんと同じアフリカ政治です）で一生の友達と何人も出会い、「慶應に入ってよかったなあ」といつも思っております。

主人の転勤で来て苦楽園に住み、あまりに気に入ったので家まで建ててしまいました。毎朝シャッターを開け海と山を見渡しながら、「東京にはないこの景色、素敵だなあ」と思っております。

最後に私、眞田幸村の十五代目に当たります。何かお聞きになりたい方がいらっしゃいましたら、ぜひ例会で話しかけてみてください。今後ともよろしくお願いいたします。

≪新入会のご挨拶≫　青木 昌秀(昭47商)

ここ数年来、大学時代の複数の友人と旧交をあたためています。卒業後数十年も音沙汰なしの旧知をインターネットで探し出したり、逆に知人を介して連絡をしてきてくれたり、そして再会し過ぎ去ったお互いの長い歳月を振り返ったり、未熟だった学生時代の記憶を確認しあったり、いきなり現在の抱えるシリアスな問題を包み隠さず話し合ったり、やはり大学時代の友人はそれぞれの人生や立場を一瞬にして超越できるかけがえのない存在です。

現在、わたしは大阪市内(本町駅23号出口より徒歩１分)で労働者派遣の会社を経営しております。神戸には５年前から会社の社宅に在住し、休日には六甲山系の低山を健康維持のため登山をしております。またボケ防止のためアプリやソフトを40個くらい仕事や趣味で使いこなしております。Facebookや会社のホームページでは実名で勤務先や職業、プロフィールを投稿しております。今年の１０連休には高知県の仁淀BLUE、柏島BLUEを見たく神戸から1000キロをドライブしました。

この度大阪慶應倶楽部から転籍してまいりました。よろしくお願い申し上げます。

［今後の予定］

～6月例会～

日時：6月27日（木）18時30分開始
場所：ボナトリーチェ
講師：今泉 良太 氏（平10経）
内容：宝石・貴金属の知らない世界
会費：メンバー 4,500円／ビジター +1,000円

～7月家族例会のお知らせ～

日時：7月27日（土）18時00分開始
場所：神戸オリエンタルホテル
会費：未定

編集後記

初めに、日頃ＢＲＢを楽しみにして頂いている皆様へ。ＰＣの不具合により４月号を発行できず申し訳ございませんでした。今号より通常通り発行して参りますので、今後ともＢＲＢをよろしくお願い申し上げます。

さて、いよいよ11月には、関西合同三田会in神戸が開催されます。令和最初の関西合同三田会ということもあり、来たる11月に向けて、実行委員会一同むちゃくちゃがんばっています！！

少しだけ内容を紹介させていただくと、半沢直樹など数々の有名ドラマを手掛けたプロデューサー福澤克雄氏や、ユニクロ・ローソンの社長を歴任した玉塚元一氏をはじめ、数多くの豪華ゲストをお迎えし、キッズオーケストラによる演奏や、神戸が誇る有名ブランドスイーツなど、今回も2011年に負けず劣らずの楽しく華々しく神戸らしい関西合同三田会になります！！必ず会員の皆様のご期待にお応えしますので、是非ご参加ください！！

また、関西合同三田会 in 神戸に向け、神戸慶應倶楽部のFacebookを開設しました。今後、Facebookでは実行委員会の活動をはじめ例会のご案内など紹介していく予定にしています。また、併せてInstagramも開設予定にしていますので、会員の皆様もフォローしていただければ幸いです。

以上になりますが、今後も関西合同三田会in神戸に向けて頑張って参りますので、皆様何卒よろしくお願い申し上げます。

（BRB編集部一同）